

# 障害者差別解消に関する条例制定は

でもあることから、条例については多 についてはどうか。 が、制定へ向けた手法やスケジュール くの対話を重ね、30年度の制定を望む 及び茨木市障害者福祉計画の最終年度 市障害者施策に関する第3次長期計画 障害者差別解消法が施行された ことに加え、 平成29年度は茨木

条例制定に当たり、

障害者施策

推進分科会に有識者や障害当事

### 重要である。そのような状況の中、市 なると思うが、玄関口をどう描くかが はどのような空間が玄関口としてふさ ル等の関係権利者の意思決定が主体と 駅前を市玄関口にふさわしい空間に 小林美智子 周辺の再整備については、 JR茨木駅・阪急茨木市駅西口 質問者 米川 勝利

ろんのこと、環境問題や福祉との連携 クションブラン」の内容も踏まえたも に策定予定の「新たなおおさか農政ア 定に当たっては、大阪府が平成29年度 多面的な計画が必要と考えている。 など、農業の果たす役割を広く捉えた 農業者だけではなく市民の参加はもち 近年、ほとんどの農家が兼業農 家となり後継者不足が進む中、

それがどんどん広がっていくこ

本市の文化や魅力を象徴するだ

けでなく、多くの方が集い、

### 3月議会に上程する予定である。 平成29年内には案として取りまと 市民などを委員とする専門部会を パブリックコメントを経て さまざまな視点から議論を行 30 年

### 本市農林業の推進は

桂

と考えているのか。 経営基盤強化促進構想」で十分である 振興ビジョン」の策定を望むが、 「農業振興地域整備計画」と「農業 本市の農林業推進に当たり、 林業を多面的に捉えた「農林業 現 在

### 阪維新の会

萩原 佳 岩本 守塚 理 長谷川 浩大野 幾子 [質問者]

## 阪急・JR両駅間の一方通行化を

必要と考えている。 ちなみ形成などに大きく関係するもの 賑わい創出にも寄与するとともに、 路空間を利用した活動を促し、 による交通量の変化を見極めることが 元住民等の理解と茨木松ケ本線の整備 と快適性を向上させるだけでなく、 自動車の通行を分離し、 方通行化は、 しかし、 その実現には、 歩行者、 、沿道の 自転 安全性 道 車 ま 地



府道枚方茨木線(駅前三丁目付近)

# 子育て支援サービスの選択肢拡充を

本 次世代育成支援行動計画に基づ 大会 次世代育成支援事業を実施してい で支援サービスの充実を図るととも で支援サービスの充実を図るととも で支援サービスの充実を図るととも で支援サービスの充実を図るととも に、ニーズに応じたサービスを適切か での別用者支援事業を実施してい 大会での利用者支援事業を実施してい での別用者支援事業を実施してい での別に、子ども、保 が域での利用者支援事業を実施してい であるととも でも、保 では、子ども、保 がはでの利用者支援事業を実施してい でも、保 では、子ども、保 がはでの利用者支援事業を実施してい では、子ども、保

### 幼児教育・保育の無償化を

大会との検討する。 「なる利用者負担額の無償化が いるべき施策か等、施策・制度のあり いるべき施策が等、施策・制度のあり いるが、限られた財 段階的に図られているが、限られた財 段階的に図られているが、限られた財 のをどの施策に配分していくのか、ナ のをとの施策に配分していくのか、ナ のをとのが、限られた財 のをとのが、はのが、限られた財

### 地産地消のさらなる推進を

健康増進のため、地産地消をさ

してはどうか。
ニーズ把握、使いやすい制度の構築をだくために、戦略的なPR、農業者の者に地場産製品を生み出し続けていたらに進めるべきと考えるが、地元農業

### 税収向上のための手法は

いる。市長の意気込みを問う。 おり 本市の財政状況は、市税収入が を生むかは市長の手腕にかかって う整備や新しいまちづくりを楽観視で う整備や新しいまちづくりを楽観視で うを かましいまちが いかに あり 本市の財政状況は、市税収入が

本市の強みである「教育のまちにより、子育て世代に住みやすさをアにより、子育て世代に住みやすさをアにより、子育て世代に住みやすさをアを高める」事業に加え、企業活動の促魅力向上をはじめとした「まちの価値を高める」事業に加え、企業活動の促生を図る事業の展開等、将来においてある「教育のまちさらなる税収効果を生み出す事業の展開を正路がある。

### 田中総司(質問者)

友次 通憲 稲葉 通宣

## 地域包括ケアシステムの構築を

り組みが必要と認識しているのか。 は組みが必要と認識しているのか。 なっしょうな取り組みをスタートさせることは評価するが、この推進のため、医師会との取り組みをス推進のため、医師会との取り組みをスク の構築にかかる「在宅医療・の構築にかかる」であり、施策

大会 市民が安心して地域で暮らし続い 市民が安心して地域で暮らし続い 本市の在宅療養支援解が重要であり、本市の在宅療養支援解が重要であり、本市の在宅療養支援の構築と、在宅療養に対する市民の理の構築と、在宅療養に対する市民の理サービスが切れ目なく提供できる体制サービスが切れ目なく提供できる体制する。



イメージ写真

(※1) ナショナルミニマム: 国が保障する最低限の生活水準

だ市

## 北部地域における公共交通は

の向上についての考え方を問う。 通機関の内容、 の公共交通について、 門 育て世代の転入が進む北部地域 新たなまちづくりが行われ、 便数の確保など利便性 今後想定する交

の整備、 ていると考える。新規開発地について 路線バスが担うものと考えている 安定した需要の見通しや幹線道路 地域の課題を踏まえ、実情に 合った交通の導入が求められ 公共交通の利便性確保に努め モノレールとの連絡も考慮し

### 彩都西部地区に交番設置を

問 はないか。 り、関係機関への提言、 交番設置は地元住民の切実な願いであ 施設の完成と開設時期はいつか。また、 整備することになったが、 彩都西部地区に警察官立寄所を 要請が必要で その



して、粘り強く要望していく。 携を図りながら、大阪府警察本部に対 続き、住民や彩都建設推進協議会と連 る。 また、 設完成後、 警察官立寄所は、 の完成を目標に建設を進め、 交番設置については、 速やかに開設する予定であ 平成29年度中

家庭

# ユースプラザの意義と開設場所は

必要と述べているが、ユースプラザ(※ 問 はこれに当たると考えてよいのか。 居場所」 市長は、 が広がるまちづくりが 居心地の良い 「第3の

> 5ブロックを目安に、 も・子育て支援を推進する単位とした ができる。 ら、「第3の居場所」とも捉えること くいられる場所を目指していることか とのかかわりを持つことで、 者に実施場所を含め、 ただく予定である。 [や学校以外での信頼できる大人 開設場所はどう考えているのか。 づらさを抱える子ども・若者が ユースプラザはさまざまな生き 開設場所については、子ど 公募の受託事業 事業提案してい 自分らし

### 日本共産党

畑中 朝田 剛 充 質問者 大嶺さやか

# 子ども医療費助成対象年齢の状況は

なっているのか。 の平成29年度の実施予定はどのように 6年生までであるのに対し、 に向け努力するよう求める。本市の現 上げるとともに、 問 子ども医療費助成について、 期に対象を中学校卒業まで引き 入院とも対象年齢が小学校 順次、 年齢引き上げ 北摂7市

平成29年度の北摂7市の実施状 箕面市が通院 入院の対

> 卒業年度までになる予定と把握してい 豊中市での引き上げにより、 定しており、 象年齢を高校卒業年度までの拡大を予 入院の対象年齢は、 その他の市については、 本市を除 中学校

### 自校直営の中学校給食を

ケートの結果をもとに、 求めるが、これまで2回実施したアン による全員喫食の温かい給食の実施を 問 に検討していくのか。 択制ではなく、自校直営方式 中学校給食について、 今後どのよう 現状の選

が全員喫食を望んでおり、 が現状の選択制度を、 平成28年度実施のアンケートの 結果では、児童・生徒の5割以 保護者の6割 25年度実施

> 見を聞きながら、 学識経験者、 について検討する。 今後、 - ケート結果と同じ傾向を示して P T A さまざまな意見を踏まえ、 中学校給食のあり方 市民団体等の意

### 高齢者移動支援の検討は

問 から行っている移動支援の実態調査の の乗り継ぎ券の発行等、さまざまな願 内路線バスの増便、 結果を踏まえて、 いが届いているが、平成29年1月下旬 検討を行っていくのか。 民から、山間部の交通支援、 高齢者の移動支援について、 今後、どのような協 JR·阪急両駅間

業者とともに、 移動実態調査の結果を踏まえ、 支援の検討が必要と考えている。 上させる取り組みを検討する。 運転できなくなる高齢者に対する移動 山間部等、 域での移動支援や、高齢により 公共交通の利便性を向 公共交通が不便な地 バス事 今後



### だ市 よ議 り会

### 市議会のうごき

### 1月

5日 幹事長会

11日 議会広報委員会

22日 市議会議員一般選挙

### 2月

3日 議員総会 各派代表者会議

7日 本会議(初日) 各派代表者会議 選考委員会

8日 本会議(2日目) 選考委員会

9日 本会議(3日目) 選考委員会 各派代表者会議 議会運営委員会

27日 議員総会 幹事長会 議会運営委員会 正副委員長会

3月

3 日 本会議(初日)

7日 本会議(2日目) 8日 本会議(3日目)

9日 本会議(4日目)

10日 本会議(5日目)

13日 本会議(6日目) 14日 本会議(7日目)

16日 民生常任委員会 建設常任委員会

17日 民生常任委員会 建設常任委員会

21日 文教常任委員会 総務常任委員会

22日 文教常任委員会

24日 幹事長会

議会運営委員会 28日 本会議(最終日) 幹事長会

正副委員長会

現在、 年秋に変更となった。 供用しながら工事を進めている。この が著しく、危険な状況となったため、 段を供用開始したところ、朝夕の混雑 成29年春に予定していた供用開始が同 ことにより、工程の見直しを行い、 朝夕のみ大阪方の階段の一部を

亚

福丸 占

孝之

光夫

中内 上田 (質問者)

絆

## R新駅周辺の道路整備の考えは

状況について、 問 事が進められているが、新駅から北方 えている。新駅近辺では、周辺整備工 や地域の魅力向上につながるものと考 国道11号に至る道路・歩道の改良 駅は、近隣地域の利便性の向上 総持寺付近に設置されるJR新 市の考えはどうか。

いると聞いている。現在、

どのような

エスカレーター設置工事におい

大阪方の階段を閉鎖し、

JR新駅から国道州号までの道

改良については、

阪

新たに設置した仮階

められているが、工事に遅れが生じて

駅エスカレーター設置工事が進

駅前再整備について、

JR茨木

JR駅エスカレーター設置の進捗は



総持寺交番前付近

ボックス化による歩道整備を施工して 急総持寺駅からJR新駅間で、 施工していく予定である。

同様の工事を平成30年度より、

患者急増時の混雑解消策を

夜間の小児診療は、

高槻島本夜

問 在宅勤務医等への応援を依頼してはど として、茨木市医師会との連携や市内 相談を受けている。また、その対応策 時などは、大変混雑し、 てはならないが、インフルエンザ流行 間休日応急診療所まで行かなく 解消について

応援依頼等は困難である。 また、在宅勤務医等の応援についても、 雑するため、医師の増員は困難である。 期には、どの小児科診療所も非常に混 ているが、インフルエンザ等の流行時 医科大学の医師により出務体制をとっ 流行時は同様の状態であることから 茨木、摂津市の医師会及び大阪 夜間休日応急診療所では、

### 市議会だより No.222 平成 29年 (2017年) 5月 1日発行

# 救急医療の充実と必要性の啓発を

急要請の必要性についての啓発や周 携を深めるべきではないか。 技術の向上とともに、 どのようにしていくのか。 医師との勉強会を行うなど、連携 救急需要への対応については、 救急隊員の資質の向上を目的 需要に対し、救急隊員の知識や 今後増加すると予測される救急 医療相談ができる救急安 広報誌やホームページ 医療機関との連 また、 救

心センターおおさか#7119の利用 フレットを使用した啓発を行ってい で周知するとともに、ポスターやリー 用については、 を深めていく。また、救急車の適正利 についても引き続き啓発していく。

> えているのか。 街や小規模事業者への支援策をどう考 商店街も崩壊する恐れがあるが、 にする。 小規模事業者が減少すれば、

進と成長を支援し、 意欲ある若者や女性等による創業の促 組んでおり、 援や経営相談等の事業継続支援に取り のような状況に対応するため、 退する恐れがあると認識している。 上を図っていく。 金融支援等の制度を設けている。また、 く環境は厳しく、放置すれば衰 商店街や小規模事業者を取り 新規出店者等に対しても、 産業活力の維持向 金融支



救急安心センター案内チラシ

●急病やケガをしたときは!

# 商店街や小規模事業者への支援は

市内の小規模事業者が事業継続 困難となり、 廃業する事例を耳

問

# 自治会加入促進への取り組みは

て広報誌等で啓発を行っているが、 問 6月を自治会加入促進月間とし 自治会への加入促進のために

みを考えている。

域の方が、

地域課題を検討できる仕組

本会議をインターネットで ご覧いただけます

本会議(定例会、臨時会)のライブ中継及び録画配 信をインターネットで視聴いただけるとともに、市役 所本館1階ロビーでもライブ中継します。 (http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gikai/)

### 🔂 茨木市議会 インターネット中継 ⊕ 市議会トップへ → 操作説明へ

別ウィンドウで表示フルスクリーンで表示

**茨木市議会の本会議のライブ中継がご覧になれます** 前日 平成24年12月6日(木) 開会 午前10時 日程第1 会議録署名議員の指名について 日程第2 会期の決定について

日85 曜日 B5 (%) 内容 12月7日 金 10:00 本会議 12月18日 本会部 € 前画面へ戻る

協議するなどの取り組みが必要と考え よる分析を地域に還元することで、 合会の意見を聞きながら、 支援を行ってきたが、今後、 ような仕組みを考えているのか。 か。また、地域課題解決のためにどの こまで先導できるものと考えているの 治会の加入促進については、 これまで、 運動や自治会活動報奨金などの まちづくり関連の専門家に 自治会加入への啓発 モデル像を 自治会連 行政がど 地

松本

泰典 卓司

代

康博

河本

光宏

質問者 青木

公

明

党

# 阪急茨木市駅西口周辺の再整備は

等に向けて、 阪急茨木市駅の西口周辺再整備 市は策定中のどの

問

いるのか。 阪府に対してどのように協力を求めて 計画に位置付けるのか。 また、 国や大

討に取り組んでいる。 画決定等に一定の理解が得られたとこ 事業となり、 これまで府や国と協議を重ね、 工事着手を目標としている。 に都市計画決定を行い、 ける予定であり、 市の立地適正化計画等に位置付 活用できる補助制度等の検 事例も少ないことから、 32年度からの 平成29年度末 再々開発 都市計



阪急茨木市駅西口付近

### 子育て支援全般を重点政策

料化など、 助成制度の拡充、妊婦健診費用の全額 公費助成、 ずは中学生までの子ども医療費 待機児童の課題のみならず、 子育て支援全般を重点政策 就学前幼保の保護者負担無 #

> にする必要があると思うが、 市の考え

策・制度のあり方を含めて検討する。 をどの施策に分配していくのか等を施 の要望は届いているが、限られた財源 いる。また、少子化・子育て支援施策 育てに対するさまざまな支援を掲げて 第5次総合計画の重点プランや 総合戦略の基本目標として、 子

### 救急需要増加への対策は

ができないということであれば、 どのような方策を考えているのか。 増加が見込まれる救急需要に対して 急の受け入れが上限に達し、受け入れ に進めてきたのか。また、 問 安心できる地域医療・救急医療 体制の充実について、 市内での救 どのよう

向けて方策を検討していく。 心につながるものであり、 診療に速やかにつなぐことが市民の安 市内外を問わず、 提供される体制づくりを進めてきた。 三師会(※1)等との連携を深 在宅から救急まで包括的に 専門医師による救急 その実現に

## 糖尿病重症化予防事業の効果は

果が期待できるのか。 は何か。また、どのような広がりや効 価できるが、連携等の取り組みの特徴 問 事業が予定されていることは評 新たに糖尿病性腎症重症化予防

> 受けることが可能になるものと考え 抑止や生活習慣の改善を図ることであ や改善により医療費の抑制につながる る。また、効果については、進行防止 師と連携し、 特徴は、 コーチングスキルを習得し 身近な薬局で生活習慣指導を 患者の疾病の改善、 地域薬局の薬剤師 医

## セラピー市としての取り組みを

えるがどうか。 うな取り組みにより市民の健康意識が り組める要素があると考える。このよ 問 高まり、健康づくりを推進できると考 を活用し、セラピー市として取 市北部や元茨木川緑地等の資源



### 若い世代の結婚の後押しを

であるか庁内関係課と協議する。 誰がどのように担っていくことが

有効

なる取り組みを期待するが、 高まっている。本市においても、 についての対策はどのように考えてい 対策を望む若者の声が全国的に 若い世代の関心が高い課題とし 雇用・結婚・子育て支援が 特に結婚

り組みの結果等を踏まえながら、今後 は 結婚を後押しできる取り組みを、 これまで本市が実施してきた結 婚・子育てに前向きになれる取

> ピーは、 森林環境や緑を利用したセラ 心身の健康維持・増進 事業効果につい 他市の取組事 医学的根

拠があるとされている。 例を参考にしながら、 疾病の予防を目指すもので、 て研究を進める。

元茨木川緑地 (あやめ橋付近)

だ市 よ議

り会